

KABANETへのアクセス  
<https://www.kabanet.org/>



ID:KABA  
(半角大文字)  
PW:2019  
(半角数字)

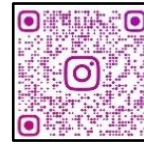
くらしの相談窓口 (全トに移行しました)  
<http://kurashino-soudan.jp>



どこの地域でどのような提案  
があるのか検索可能です!

田中祐二 SNS

Instagram facebook



討議資料

議員、地域  
活動を紹介  
しています。



明るく いきいき暮らせる 安全・安心なみよし市を目指します



みよし市議会議員

田中 祐二

発行日：令和8年1月28日

発行所：トヨタ自動車労働組合

発行人：飯田 智士

編集者：田中 祐二

印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

## くらしの相談 担当者レポート No 11

### くらしの相談事例

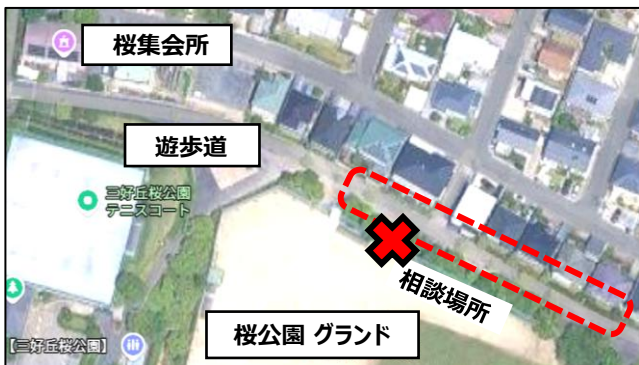
#### ◆生活環境の改善◆・・・桜公園グラウンド、遊歩道の木々剪定

【相談者】地域住民

【相談内容】桜公園グラウンド横と遊歩道にある樹木が高くなりすぎて、枝木落下の恐れがある。

【相談場所】三好丘桜3丁目 桜公園グラウンド横の遊歩道

【対応内容】樹木の上部・枝木の剪定。



今回は、遊歩道沿いのイチョウについて、枝のみを剪定しました。グラウンド脇の樹木については今回は剪定することができませんでしたが、来期以降、予算の確保ができ次第、上部の剪定を順次実施する予定です。

#### ◆交通安全対策◆・・・ガードパイプ設置

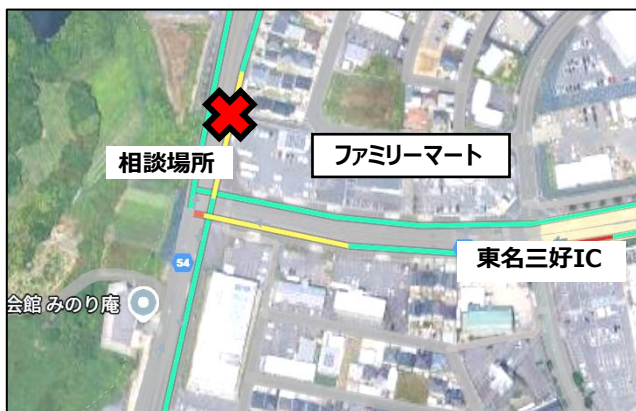
【相談者】明知支部の組合員

【相談内容】信号待ちで渋滞時、歩道を通りコンビニに進入する車が多数ある。  
遊歩道も横切る道の為、子供達もよく通る道で危険

【相談場所】根浦町ファミリーマート付近 県道54号 豊田知立線バイパス

【対策内容】ガードパイプ設置 (設置位置の変更を林県議に依頼)

【反省点】解決提案をしっかり伝えることができず、やり直しの手間と相談者様に迷惑をかけてしまった



相談者様からは、なるべくコンビニ側に寄せてとの事でしたが遊歩道からの歩行者保護のため、この位置になりました。

# 12月議会 報告

## ◆補正予算◆12月24日可決

補正予算額5億7,753万円

### 公園照明灯LED化改修工事（債務負担行為） <20,000千円>



【概要】 既存の公園照明の多くは水銀灯であることから、**環境負荷の低減および電力消費量の削減**を目的として、**計画的な更新と事業費の平準化**を図るため、債務負担行為を活用し、灯具等の改修およびLED化を実施します。

【実施状況】 令和2年度から実施し、令和10年度に完了予定。計画数は 338基  
 令和7年度完了見込み：218基（進捗率 64.5%）  
 令和8年度更新予定：37基（進捗率 75.4%）



#### 【令和8年度実施予定の公園】

・三好根浦公園 20基、福田緑地 4基、南台1号公園 3基、南台2号公園 4基、天王緑道 6基

【効果】 ・年間の電気料金削減金額 766,344円/年 ・年間のCO2削減量 5,019kg-CO2/年



### 無痛分娩費用助成事業 <500千円>



【概要】 痛みを理由に妊娠・出産をためらう女性の不安を和らげる目的と出産の選択肢を増やすため、**市内の産婦人科医療機関で無痛分娩を実施した市民に対して1回の出産につき10万円を上限に費用を助成**します。

【対象者】 市内産婦人科医で硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔又はその併用で、無痛分娩を受けた**次のすべてに該当する人**

- ①無痛分娩を実施した日において、市内に住所を有し、引き続き定住の意思がある人
- ②医療保険各法の被保険者若しくは被扶養者
- ③令和8年1月1日以降に出産した人（一部例外あり、詳細はみよし市HPに掲載）

東海3県で初



## その他の活動

### ◆明知工場◆

#### 心をひとつに！「植樹イベント」に参加



11月22日、トヨタ自動車 明知工場の**従業員の皆さんをはじめ、地域住民の方々、協力企業の皆さんと力を合わせ**、工場の法面に一本一本、心を込めて木々を植樹しました。世代や立場を超えた交流の場ともなり、和やかな雰囲気の中で取り組むことができました。

この活動は、トヨタの環境チャレンジ2050に掲げる「**人と自然が共生する工場の実現**」を目指した取り組みの一環で、3年計画で進められています。植樹を通じて、**生物多様性の保全や地域環境の向上**に貢献するとともに、自然と向き合う意識を改めて高める貴重な機会となりました。



関係する企業



植樹イベント当日の様子

### ◆先進プロジェクト推進部◆ウッドチップ舗装を公共施設へ導入

会派要望

2026年4月の開園予定の城山保育園。老朽化への対応と保育環境の向上を目的に、移転新築されます。新園舎は木造で整備され、子どもが快適に過ごせる温かな空間づくりや安全性の向上、園庭整備、再生可能エネルギーの活用など、保育機能の充実を図る計画です。

また、駐車場の一部にコンクリートやアスファルトに比べて環境負荷が小さい「**ウッドチップ舗装**」間伐材や剪定枝など、**未利用の木材を細かく砕いてチップ状にし、歩道や広場などに敷設（ふせつ）する舗装を導入**しました。木材に固定された炭素を焼却せずに活用するため、**廃棄時のCO2排出を抑制**。 ※「**あいち認証材CO2貯蔵量認定制度**」に申請中（県内初）



12月10日 施工の様子

城山保育園の園児もお手伝いに来てくれました

**ポイント** ・温度上昇を抑える（ヒートアイランド対策） ・防草効果がある  
 ・透水性・保水性が高い ・自然由来のやわらかい歩行感がある